2026年　11月9日

第80回全日本体操団体選手権
第80回全日本体操種目別選手権
大会要項

主　催:　(公財)日本体操協会
主　管:　三重県体操協会
後　援:　三重県、四日市市、(一財)上月財団、(株)CBC テレビ
協　賛:　テーブルマーク、ACN、日本航空、三菱地所、ミズノ、セイコーグループ
　　セノー、JTB、近畿日本ツーリスト

1.　期　日

2026年12月　1日(火)～　6日(日)

12月	1日	(火)　会場設営
		会場練習
12月	2日	(水)　会場練習
		種目別オリエンテーションミーティング
12月	3日	(木)　種目別審判会議
		男子・女子種目別予選
12月	4日	(金)　会場練習
		団体オリエンテーションミーティング
12月	5日	(土)　団体審判会議
		男子・女子団体決勝
12月	6日	(日)　男子・女子種目別決勝

2.　会　場

競技会場:相好アリーナ四日市(四日市市総合体育館)
〒510-0886　三重県四日市市日永東一丁目3番21号
Tel:059-348-4100　(総合体育館)

3.　参加資格と条件

【参加資格】

(1)男子

①　2026年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。
②　年齢制限は、中学3年生以上(2026年度)とします。

◆団体選手権

表1　男子団体選手権通過基準		チーム数
❶	第59回全日本シニア体操競技選手権大会と 第80回全日本学生体操競　技選手権(1部・2部)の得点を並べる ※大会結果とは別に6-6-3方式で通過順位を決定する	12
❷	令和8年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)上位2チーム	2
❸	2026全日本ジュニア体操競技選手権大会(全日本 Jr.1部)上位 1 チーム	1
❹	U20ナショナル選抜チーム1チーム	1

＊ チーム登録選手は8名まで(補欠を含む)とする。
＊ ❶の大会において、団体メンバーが6名に達しない場合は、予選となる各大会で団体出場していることを条件と して、5名の場合は 5-5-3、4名の場合は4-4-3で再計算する。ただし、チームが3名以下となり、団体戦が成立しなかった(チーム解体)場合は選出対象としない。
＊ アジア競技大会および世界選手権の代表選手(正選手のみ対象)が全日本シニア選手権を欠場する場合には、例外として全日本団体選手権出場のための団体得点再計算を行う。 この場合、チームとして4名以上いることを条件とする。団体得点を再計算する大会は全日本個人総合予選・決勝、NHK杯1日目・2日目の4試合とし、4試合のうち得点の高い2試合の得点の平均を採用し団体得点に置き換える。
＊ ❹U20ナショナルチームが編成できない場合は、❶の次点のチームに出場権を与える。
＊ 同点の場合のタイブレークは、FIG 競技規則に準ずる。

◆種目別選手権

表2 男子種目別通過基準		出場者数
❶	決勝シード選手	最大2名
❷	種目別国内ランキング 対象7大会において種目別国内ランキングを作成し、上位28名に出場資格を与える	28名
❸	映像審査(跳馬を除く)	8名
❹	映像審査(跳馬)	36名

＊ 決勝シード選手は、予選を免除とする。
＊ 下記①から④の順に最大2名までシードする。
① 第54回世界体操選手権種目別メダリスト
② 第20回アジア競技大会種目別金メダリスト
③ 第54回世界体操選手権種目別ファイナリスト
④ 第20回アジア競技大会種目別メダリスト
＊ ランキング対象大会
① 第80回全日本体操個人総合選手権 予選
② 第80回全日本体操個人総合選手権 決勝
③ 第65回 NHK 杯体操 1日目
④ 第65回 NHK 杯体操 2日目
⑤ 2026全日本ジュニア体操競技選手権大会1部
⑥ 第80回全日本学生体操競技選手権大会1部・2部
⑦ 第59回全日本シニア体操競技選手権大会
＊ 跳馬は種目別ランキングを設けない
＊ 資格保有者が辞退した場合、映像審査9位以下から順次繰り上げて資格を付与する
＊ 同点の場合のタイブレーク
(1) 得点が同点の場合、D スコアの高い選手を上位とする
(2) D スコアが同点の場合、E スコアの高い選手を上位とする
(3) さらに同点の場合、ランキング対象大会における次に高い得点を有する選手を上位とする(2番目の得点で比較)
(4) 2番目の得点が同点の場合、2番目の得点の D スコアの高い選手を上位とする
(5) さらに同点の場合、2番目の得点の E スコアの高い選手を上位とする
(6) 以下、(3)(4)(5)の手順にそって次に高い得点で比較する
(7) (6)においても同点の場合は、同順位とする
(8) D スコアにスッティックボーナスは含まないものとする

(2)女子
① 2026年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。

② 年齢制限は小学6年生以上（2026年度）とします。

◆団体選手権

表3 女子団体選手権通過基準		チーム数
❶	団体総合ランキング上位15チーム ※大会結果にもとづいて6-6-3方式で通過順位を決定する	15
❷	強化選抜チーム ※ ナショナル強化指定選手およびシュニアナショナル強化選手によって編成する	1

＊ チーム登録選手は8名まで（補欠を含む）とする。

＊ ❶において団体メンバーが6名に達しない場合は、予選となる各大会で団体出場していることを条件として、5名の場合は 5-5-3、4名の場合は4-4-3で再計算する。ただし、団体戦が成立しなかった場合(チーム解体)は、選出対象としない。

＊ 対象競技会におけるチーム減点が適用された場合は、再計算の得点に反映される。

＊ 団体総合ランキング対象競技会

① 2026全日本ジュニア体操競技選手権大会1部
② 第80回全日本学生体操競技選手権大会1部・2部
③ 第59回全日本シニア体操競技選手権大会

＊ ❷強化選抜チームが編成できない場合は、❶の次点のチームに出場権を与える。

＊ 同点の場合のタイブレークは、FIG 競技規則に準ずる

◆種目別選手権

表4 女子種目別通過基準		出場者数
❶	決勝シード選手	最大4名
❷	❶を除く対象7大会において種目別国内ランキングを作成し、上位18名に出場資格を与える（跳馬を除く）	18名
❸	映像審査6名（跳馬を除く）	6名
❹	映像審査24名（跳馬）	24名

＊ シード選手は、予選を免除とする。

＊ 下記 A、B の順に最大2名までシードする。

A. 第54回世界体操競技選手権種目別メダリスト最大2名
B. 日本代表選考競技会種目別ランキング上位2名（跳馬を除く）

＊ 日本代表選考競技会種目別ランキング対象大会

① 第80回全日本体操個人総合選手権 予選
② 第80回全日本体操個人総合選手権 決勝
③ 第65回 NHK 杯体操 1日目
④ 第65回 NHK 杯体操 2日目

＊ 種目別国内ランキング対象大会

上記①から④を含む

⑤ 2026全日本ジュニア体操競技選手権大会1部
⑥ 第80回全日本学生体操競技選手権大会1部・2部
⑦ 第59回全日本シニア体操競技選手権大会

＊ 映像審査への参加は、各種目 12.500 を基準とする。また、跳馬は2跳躍の平均点を対象とし、ボーナス点も加味する。

＊ 同点の場合のタイブレーク

⑴ 得点が同点の場合、E スコアの高い選手を上位とする
⑵ E スコアが同点の場合、D スコアの高い選手を上位とする
⑶ さらに同点の場合、ランキング対象大会における次に高い得点を有する選手を上位とする（2

番目の得点で比較）

⑷ 2番目の得点が同点の場合、2番目の得点のＥスコアの高い選手を上位とする

⑸ さらに同点の場合、2番目の得点のＤスコアの高い選手を上位とする

⑹ 以下、⑶⑷⑸の手順にそって次に高い得点で比較する

⑺ ⑹においても同点の場合は、同順位とする

【参加条件】

① 2026年度本協会への選手登録を済ませた者とします。

② 団体選手権において、外国籍選手の出場はチーム１名までとします。
短期ビザではない滞在証明書の写し（またはそれに準ずるもの）を提出して下さい。
＊ なお、本会によって更なる書類の提出を求める場合やその内容から出場を認めない場合もある

4. 競技に関する通達事項

⑴ 適用規則

男 子：2025年版採点規則および体操競技情報最新号を適用
女 子：2025年版採点規則および体操競技情報最新号を適用
競技規則は2026年版FIG競技規則に準ずる。

⑵ 団体競技方法（2026年版FIG競技規則に準ずる）

① 各組2チームずつ編成し、1名ずつ交互に演技を行うFIG決勝方式とします。

② 男女とも6名の選手の内、3名が演技を行い、その合計得点を得点とします。

③ 6名の選手の選出およびオーダーの提出はOM前までに行って下さい。

④ 演技を行う選手の申告は、各ローテーション開始の挨拶を行う際に、変更の有無にかかわらず、D1審判に行って下さい。

⑶ 団体班・組編成について

① 男子

男子団体選手権通過基準上位7チームおよび❷1位を2班とします。1班は下位5チームおよび通過基準❷2位、❸、❹の計8チームにて編成します。
1班2班ともに通過順位順により開始種目を決定します。
U20ナショナル選抜チームは、オープン参加とします。

1班開始種目（白抜き数字は表1団体選手権通過基準）

開始種目	ゆ か	あん馬	つり輪	跳 馬
前半グループ	8位	10位	12位	❸
後半グループ	9位	11位	❷2位	❹

2班

開始種目	ゆ か	あん馬	つり輪	跳 馬
前半グループ	1位	3位	5位	7位
後半グループ	2位	4位	6位	❷1位

② 女子

女子団体選手権通過基準上位8チームを2班とします。1班は下位7チームおよび強化選抜チームの計8チームにて編成します。
1班2班ともに通過順位順により開始種目を決定します。
強化選抜チームは、オープン参加とします。

1班開始種目（白抜き数字は表3団体選手権通過基準）

開始種目	跳 馬	段違い平行棒	平均台	ゆ か
前半チーム	9位	11位	13位	15位

後半チーム	10位	12位	14位	❷

2班開始種目

開始種目	跳　馬	段違い平行棒	平均台	ゆ　か
前半チーム	1位	3位	5位	7位
後半チーム	2位	4位	6位	8位

⑷ 団体選手権競技進行について

① 団体決勝は、男女ともに原則として１種目27分のローテーションで競技進行します。
② 男女とも競技直前のアップ時間は、チームごとに行い男子は150秒、女子は90秒（段違い平行棒は150秒）とします。男女ともゆかについては両チームの同意があれば男子300秒女子180秒を合同で行うことを認めます。
③ 男女とも、競技は開始種目では前半チーム後半チームの順に一人ずつ交互に演技をします。2種目目は後半チーム前半チームの順に演技し、以下ローテーションごとに前半後半チームの順が入れ替わります（最終種目では上位チームが後に演技）。
④ ラインナップは前半チーム後半チームも審判団の前に整列してください。

⑸ 種目別選手権予選競技方法

① 男女とも予選は抽選により編成します。
② 男女とも前半、後半に分け男子3種目女子2種目に分け、組を編成します。
③ 男女ともシード選手は、決勝競技のみとします。
④ 予選では複数種目に出場する選手が円滑に競技を行うことができるように演技順を抽選します。ただし、正ローテーションとは限りません。

⑹ 種目別選手権決勝競技方法

① 男女とも決勝進出はシード選手を含み8名とします。リザーブは2名までとします。
② 決勝は通過順位の低い選手から演技を行い、4名ずつ前半・後半の組編成とします。
シード選手は後半の組に編成し、男女とも選出順位順に上位者が最終演技者となるように編成します。
③ 決勝のリザーブ選手は、各種目の各ブロック開始10分前まで準備を行って下さい。出場することになった場合の演技順は、順位の低い選手として演技を行う事とします（最初に演技を行う）。
④ 予選において同点の場合は、FIG タイブレークルールを適用します。男子は通過基準によるタイブレークルールを準用します。（上記、種目別通過基準参照）
⑤ 決勝競技は以下のブロックごとで競技をします。

ブロック	男　子	女　子
第1ブロック	ゆ　か	
第2ブロック	あん馬	跳　馬
第3ブロック	つり輪	段違い平行棒
前半種目表彰・器具転換		
第4ブロック	跳　馬	平均台
第5ブロック	平行棒	ゆ　か
第6ブロック	鉄　棒	
後半種目表彰・ありがとうラン／ファンイベント		

⑺ 種目別競技の進行について

① 種目別予選は男女ともに原則として１種目27分のローテーションで競技進行します。
② 種目別決勝は男女交互に演技を行います。
③ 男子種目別予選・決勝競技直前のアップ時間は一人50秒とします。
④ 女子種目別予選は3分、決勝は前半後半ともに2分、段違い平行棒は一人50秒とします。
⑤ ラインナップは前半に後半組も審判団の前に整列してください。

(8) 会場およびサブ会場

① 本大会では、演技台(ポディウム)を設置しません。
② サブ会場は男子6種目・女子4種目を設営します。
③ 炭酸マグネシウムは、大会で準備します。本会場では固形タイプのマグネシウムを推奨しています。環境美化のため各所属で持参は、最小限にてお願いします。
④ 女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内に BGM を流します。

(9) 器械器具

① 本大会はセノー社製(2026製品カタログ版)を使用します。
② 跳躍板について
＊ 「跳馬」は、ハードタイプ(3－3－2)・ソフトタイプ(3－1－2)を使用します。
(注)バネの取り外しはできません
＊ 「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」は、ソフトタイプを使用します。
③ 競技用追加マット(スポッターマット)について
＊ 男子は、「競技用追加マットの使用に関する通達」に準じて使用可能です。
＊ 女子は、スポッターマットについて2025年版規則に則って使用します。
④ テンションコントロールセンサー(張力計、TCS)について
＊ TCS の使用については、以下の種目に設置します
男子:つり輪、鉄棒
女子:段違い平行棒

(10) 女子ゆかの音楽について

下記フォームよりそれぞれ提出してください。

◆ 団 体 ゆか URL: https://x.gd/XvQXV ファイル名 :「ゼッケン_選手名」
◆ 種目別 ゆか URL: https://x.gd/2SvnP ファイル名:「ゼッケン_選手名」
◆ JASRAC URL: https://x.gd/AzNHT ファイル名:「所属_選手名」

団体選手権に出場(登録)する所属の選手は全員提出してください。
団体選手権および種目別選手権の両方に出場する選手は2回提出してください。
データのエラーに備え、各自 CD または USB を準備し携行してください。
媒体につき音楽データ 1 曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備してください。

5. AD(Accreditation)カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみに AD カードは発行されます。会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

各所属への AD カードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

役 職		配布枚数
部 長	男女の選手が出場するチームでも1名分とします。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は選手団席での観戦となります。	1
監 督	男女の選手が出場するチームの場合、合計で2名分発行します。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は選手団席での観戦となります。 ただし、アシスタントコーチが競技エリアに入る場合、監督者として競技エリア外で待機してください。 なお、アクシデントによる対応やインクワイアリーの提出が必要な場合、競技エリア内に入ることができます。	1

コーチ	◆ 団 体 競技中に競技エリアに入れるコーチ AD の申請は2名とします。原則として、JSPO 体操競技公認コーチ3資格を持つ者とします。 ただし、2名のうち1名は資格を持っていない者(学生、生徒、選手)でも AD 申請を可能とします。これらのコーチは「アシスタントコーチ」とし、インクワイアリー等ルールに基づく競技中の申請については、単独では出来ないものとします。(コーチ3資格保持監督やコーチが行ってください)	2
	◆ 種目別 コーチとアシスタントコーチを合わせて最大出場選手数分を配布します。原則として、JSPO 体操競技公認コーチ3資格を持つ者とします。ただし、出場選手数等により、コーチの人数を確保するために、資格を持っていない者(学生、生徒、選手)でも AD 申請を可能とします。これらのコーチは「アシスタントコーチ」とし、インクワイアリー等ルールに基づく競技中の申請については、単独では出来ないものとします。(コーチ3資格保持監督やコーチが行ってください) ※ コーチ3資格保持監督やコーチはアシスタントコーチを統括し、責任を持ってその者をサポートしなければならない。	選手数
アシスタントコーチ	JSPO 体操競技公認コーチ3以上の資格を持たない指導者、学生および生徒、選手 ※ 選手登録済み、他所属の登録済みの場合でも、AD 発行を希望する所属にて「選手−以外」の登録が必要となります。	
選 手	団 体:正選手6名およびリザーブ選手2名とします。	8
	種目別:出場選手分	
トレーナー	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 競技中は競技エリア外で待機してください。治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。	1

＊ 選手団撮影許可証に関しては、各所属 2 枚(男女出場する所属も一所属 2 枚まで)を受付時にお渡しします。撮影許可証要項については P9、P10 参照

6. 表彰
   (1) 男・女団体優勝チームには優勝杯を授与します。
   (2) 団体、1位～3位にメダル(正選手6名)と賞状を、4位～6位には賞状を授与します。
   (3) 種目別、1位～3位にはメダルと賞状、4位～8位には賞状を授与します。
   (4) 同点は同順位として表彰します。

7. 保険について
   本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償については損保ジャパンの国内旅行傷害保険(団体)の範囲とします。

   死亡・後遺障害 : 14,950,000 円
   入院保険金日額: 5,000 円
   通院保険金日額: 3,000 円

   ※ 大会参加者は健康保険証を持参してください。

8. ドーピング検査について
   (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

(2) 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

(3) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

(3) 本競技会が国内最高レベルの競技大会に該当し、禁止物質・禁止方法を使用して治療を行う競技者に限り、競技会30日前までに治療使用特例（TUE）を取得してください。競技会及び TUE が必要か否かは、以下の手続きに沿って確認してください。

① 自身が使用している治療薬が禁止物質・禁止方法（https://www.realchampion.jp/what/health/about/）に該当するかを確認してください。

② 当該競技会が、国内最高レベルの競技大会一覧（https://www.playtruejapan.org/code/tue.html）に掲載されているかを確認してください。

③ 治療使用特例（TUE）の手続き（https://www.realchampion.jp/what/health/tue/）を確認し、期限までに提出してください。

(4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。

(5) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後1時間の安静が必要となるので留意してください。

(6) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（http://www.playtruejapan.org）にて確認してください。

9. 演技写真撮影および SNS による広報活動について

(1) 記者会見、ミックスゾーン等の取材活動にご協力下さい。

(2) 本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。

(3) 出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。

＊ 大会期間中に本協会が撮影した写真や動画について、今後の本協会主催の事業で使用することがあります。使用する写真や動画の確認が必要な所属は申し出てください。

(4) 競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア（公式 HP、Twitter、Facebook、Instagram） に掲載する可能性がありますので、ご協力をお願いします。

＊ 大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

10. 撮影許可証について

(1) 所属あるいは選手自身の記録のため各所属に選手団撮影許可証（2枚）を配布します。撮影者は、AD カードを所有している者が行ってください。

(2) 関係者（保護者等）でカメラでの撮影を希望する方は、参加申し込み時に登録し参加費と併せてお支払いくださ

い（1,000円/1名　4日間通し）。当日、現金での対応はございません。

(3) 一般の撮影許可証は、スマートフォンのみとします。カメラを使用しての撮影許可証は、指定された座席にて限定販売を行います。

(4) 以上、撮影に関する詳細は、別紙（撮影許可証運用について、後日通知）参照のこと。

11. 参加申し込み

期　　日：2026年11月6日（金）～11月10日（火）15：00まで

申込方法：大会申込は以下 URL から手続きをしてください。なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

（公財）日本体操協会 会員登録管理システム：http://jga-web.jp/

参 加 料：

団　体：　50，000円
種目別：　20，000円

＊ JASRAC（日本音楽著作権協会）負担金　女子選手のみ 1 名につき500円

＊ 女子団体、女子種目別「ゆか」に出場する場合は、参加料の振込時に入金してください。

連 絡 先：ag-event@jpn-gym.or.jp

＊ 2026年度より連絡先アドレスを変更しました。

抽 選 日：2026年11月12日（木）非公開

12. 帯同審判員の派遣について

男女とも団体選手権に参加する所属は、1種審判資格を有する1名の審判員を派遣してください。
派遣できない場合には、審判員委嘱費として70，000円を納入してください。
帯同審判は、団体決勝競技のみ審判を行います。
種目別予選・決勝競技の審判は行いません。
審判員に関する費用については所属で負担してください。

※ 届け出期限　2026年9月18　日（金）

下記フォーム（URL）から入力をしてください。
本部依頼する場合も、入力をお願いします。

帯同審判員入力フォーム（終了）

13. その他

(1) 所属の車両乗り入れについて
駐車場に限りがあり、他の運動施設でのイベントと重なり満車になる可能性があります。
可能な限り公共交通機関をご利用ください。

(2) 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

(3) 種目別決勝競技に出場した選手は、表彰式後のイベントに参加できるよう余裕をもって移動の準備をお願いします。

(4) 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。

以 上